

漁況情報の収集・管理及び提供

福田 将数

1. 目的

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、関係漁協の協力により毎月のセリデータ収集及び漁獲統計等を整備し、漁況情報等を漁業者及び水産関係者に提供する。

2. 方法

現在、県内 22 漁協と漁連から、毎月のセリデータを F D または M O もしくはセリ帳の形で入手し、また参考のために大島支庁がとりまとめた奄美大島の情報を FAX で提供を受けている。入手したこれらの情報は、水試でデータベース化後、毎月それらを基に各漁協ごとに魚種別、旬別漁法別漁獲量等の月報を発行している。また、漁況及び海況情報をとりまとめ、毎月、漁海況情報を発行している。特にソデイカ漁期中は、県内 24 漁協のソデイカ水揚げ量を集計したソデイカ月報を毎月発行し、更に全国 13 県のソデイカ漁獲量を集計したソデイカ情報を年 1 回作成し、水産関係者に広報している。また、本部漁協のカツオ竿釣り漁業については、銘柄別漁獲量等を集積・管理している。

3. 結果

以下、漁海況情報にも掲載している本県の重要魚種の漁獲量の推移について述べる。

2005 年の沖縄島中南部 4 漁協（糸満、港川、知念、沖縄市）のパヤオでのキハダ（10kg 以上）の漁獲量は 284 t で、過去 5 年平均の漁獲量 357t を下

回った（図1）。シビ（10kg 未満）の漁獲量は 236t で、過去 5 年平均の漁獲量 272t を下回った（図2）。2005 年 11 月～2006 年 6 月（2005-2006 期）の全県のソデイカ漁獲量は、前期を下回る約 1,425t だった。また、過去 5 年平均の漁獲量 2,245t も下回った（図3）。本部漁協の 2005 年のカツオ竿釣りの漁獲量は 105t で、過去 5 年平均の漁獲量 140t を下回った（図4）。

4. その他

本事業で収集した漁獲統計データは以下の報告書で利用された。

海老沢明彦，八重山海域におけるナンヨウブリダイの年齢別漁獲尾数，平成 17 年度沖縄県水産試験場事業報告書掲載予定

太田格・工藤利洋・海老沢明彦，八重山海域の沿岸性魚類資源の現状，平成 17 年度沖縄県水産試験場事業報告書掲載予定

太田格・工藤利洋，八重山海域における主要沿岸性魚類の種別漁獲量の推定，平成 17 年度沖縄県水産試験場事業報告書掲載予定

福田将数，県内主要漁場で漁獲されたマチ類 4 種の尾叉長別漁獲尾数，平成 17 年度沖縄県水産試験場事業報告書掲載予定

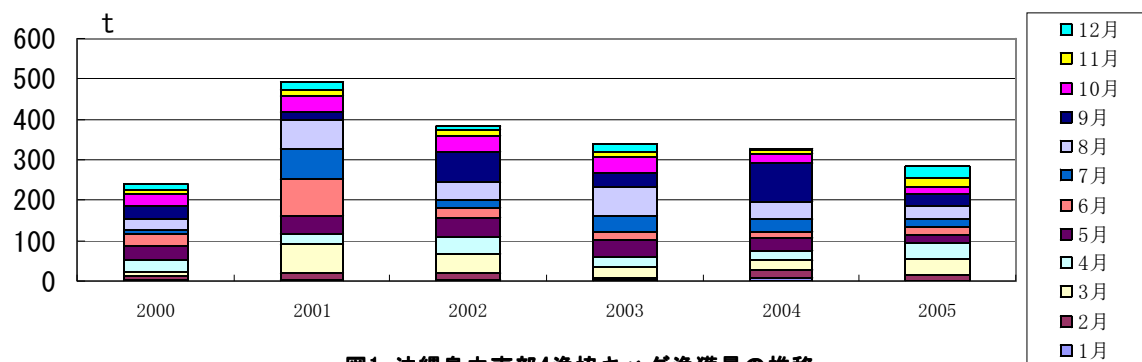


図1. 沖縄島中南部4漁協キハダ漁獲量の推移

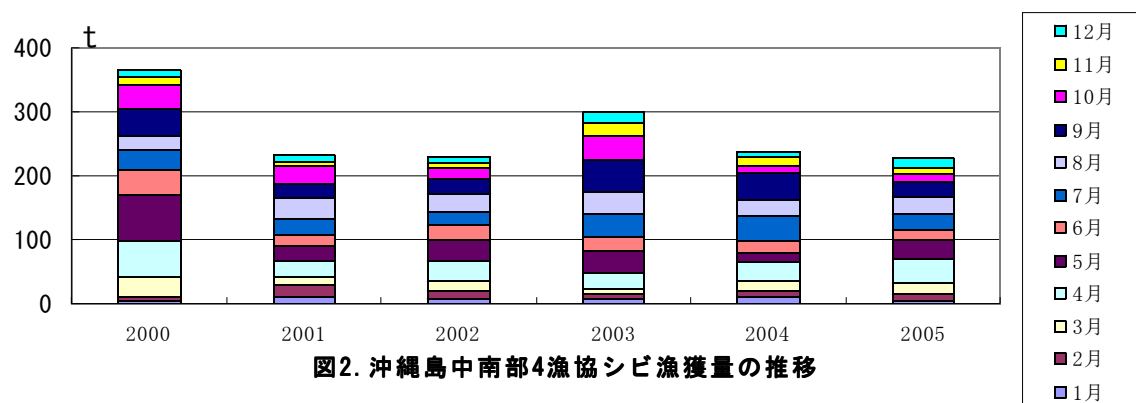


図2. 沖縄島中南部4漁協シビ漁獲量の推移

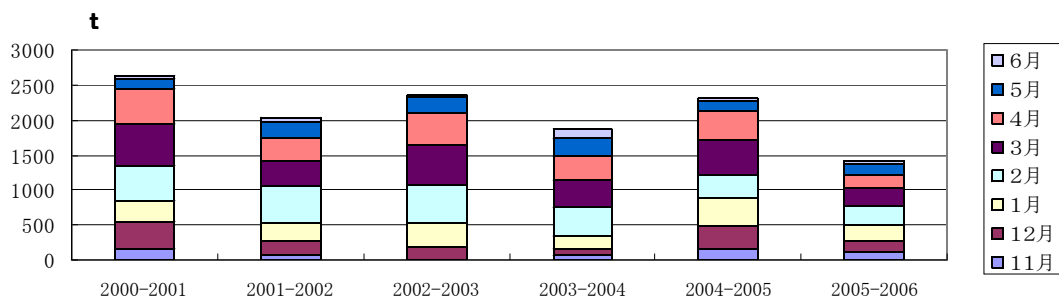


図3. 県内ソデイカ年別月別漁獲量

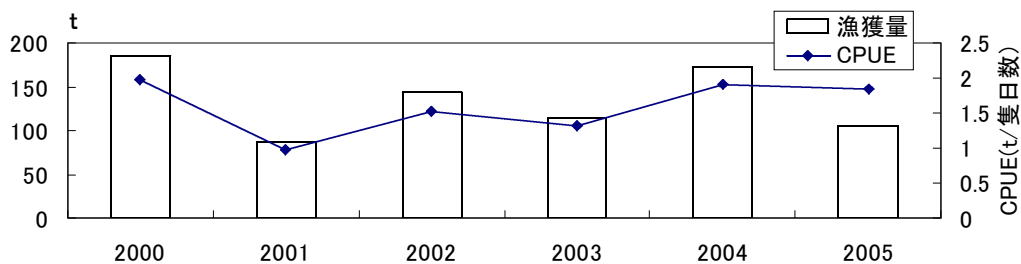


図4. 本部漁協カツオ竿釣漁獲量・CPUEの推移